

研究開発の仕事は挫折の連続。
大切なのは、挫折をどう次につなげるか。



山田優斗さん(1997年生まれ)

名古屋市立桜台高校 出身

中部大学 工学部機械工学科卒業

愛知時計電機株式会社

名古屋市熱田区千年1-2-70(本社)

<https://www.aichitokei.co.jp/>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→機械工学について学ぶ
→ガス関連機器、水道関連機器の製造、サービス提供をおこなう企業に就職→研究開発

――**仕事について**
「ガスマーティーや水道マーティーなど
流体計測技術をいかした製品・サービ
スを提供する愛知時計電機に就
職しました。入社後は、プログラムミ
ングの勉強が中心。先輩が書いたプ
ログラムが正常に動くか、バグがな
いかのチェックを任せられました」

――**挫折について**
「ガスマーティーや水道マーティーなど
流体計測技術をいかした製品・サービ
スを提供する愛知時計電機に就
職しました。入社後は、プログラムミ
ングの勉強が中心。先輩が書いたプ
ログラムが正常に動くか、バグがな
いかのチェックを任せられました」

――**学生時代**
「まわりの学力レベルが高く、勉強
に挫折して目標をもてずにいた高
校生活でした。そのなかで機械工
学の道に進んだのは、予備校の先
生の言葉がきっかけです。その先生
に『世界で一番命を救っている仕
事って何かわかる?』と聞かれま
した。医者や消防士を想像したのです
が、その先生は『命を運んでいる自
動車、電車など、それらの製造に携
わっているエンジニアだよ』と答え
たんです。その言葉に感銘を受け、
中部大学工学部に進学しました」

――**大学時代について教えてください。**
「機械工学の基礎となる、4大力學
(材料力学、流体力学、熱力学、機械
力学)の授業はもちろん、フライ
ス盤などの機械を使って金属を
加工する実習もありました。3D
CADで図面を設計し、3Dプリ
ンターで置物を作る授業も印象に
残っています。研究室では、「ロケッ
トのエンジンを液体水素で冷やす
と冷却能力が低下する現象」につい
て研究しました。卒業直前まで研究
を続けたのですが、その経験は何事
にも真剣に取り組む原動力になっ
ています」



――**仕事内容を簡単に教えてください。**
「現在は、研究開発職として働いて
います。たとえば、メーターから通
信を飛ばしてガスや水道の使用料
を把握できるシステムを開発する
など、お客様の『あつたらいいな』を
実現する仕事です。まずは、営業担
当からお客様が求めている機能を
書をもとにプログラムを作り、バグ
がないかをチェックしていきます」

――**心がけていることは?**
「お客様の要求を設計書に起こした
り、開発の現状や、問題点を先輩に
伝えたり、コミュニケーション力や
国語力を鍛えるのも大切なことで
す。わからないことがあればすぐに
先輩方に質問して、わからないまま
にしないことを心がけています」



18歳 勉強面で挫折を経験。目標をもてずにいた高校生活。

22歳 機械工学や金属加工の基礎を学ぶ。大学卒業後、愛知時計電機に就職。

25歳 研究開発職として、お客様の要望を実現できるシステム開発をおこなう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



――**メッセージ**

「私は高校時代に勉強面で挫折を味
わいました。研究開発の仕事も挫折
の連続です。挫折を経験すると、そ
れが糧になります。大切なのは、そ
の挫折をどう次につなげるか。挑戦
と挫折を繰り返して自身を成長さ
せてほしいです。高校卒業後にひし
ひしと感じているのは、『学校に行
けば友達に会える環境って本当に
貴重だった』ということ。社会に出
たら、しつかり予定を合わせないと
友達に会えません。それがけつこう
寂しいですね。学生時代にたくさん
楽しい思い出を作つてください!」

他人の意見に流される必要はありません。
今の自分の気持ちを大事に。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→交通課に配属

水谷香菜さん(1996年生まれ)

柏山女学院高校 出身

愛知学院大学 心身科学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

ー学生時代

「バスケットボール部に所属し、部活中心の高校生活でした。強豪校ではありませんでしたが、練習も毎日あつたので、部活を通してメンタルを鍛えられたと思います。高校卒業後、愛知学院大学に進学しました」

大学時代について教えてください。

「運動学やスポーツ心理学、筋肉や身体の仕組みなど、健康や運動に関連した講義が中心でした。大学ではラクロス部に入り、他大学と協力してリーグ運営をしていました。同年代の様々な学生と関われたのは大きかったです。警察官を目指すきっかけは、3年生のときに警察官の親戚から『びつたりだと思つよ』と言われて興味をもつたことです。警察官は、『助ける』より『守る』イメージが強かったことも志望した理由のひとつです。公務員試験対策は、大学のキャリアセンターでアドバイスをもらいながら取り組みました。ラクロス部に警察官を目指している仲間がいたこともモチベーションのひとつでした。お互いに励まし合いながら頑張ることができたと思います」

ー仕事について

「警察学校では、書類作成や職務質問の方法、柔道や剣道、逮捕術などを学んでいます。厳しい訓練が多かつたですが同期と助け合いながら乗り越えることができました。事件の当事者役を教官と学生が担当して対応要領を学ぶロールプレイが楽しかったです」

ーやりがい

「私たちは日々様々な事件・事故に対応しますが、ひとつひとつ親身に接する中で『ありがとうございました』という言葉をいただくことが嬉しいを感じます。交通事故が発生しなかつた連続日数が伸びていくことも嬉しいですね。今後も交通事故を減らせるように頑張ります」

ーメッセージ



「警察官になるためには、採用試験に合格する必要があります。大学でいたり、キャリアセンターのサポートを受けられたりするのでぜひ活用してください。私は、愛知県警察のイベントに参加し、そこで見た女性の白バイ隊員の姿に憧れを抱いて進路が明確になりました。大切なのは、気になつたことは何事も挑戦に対する対応を行いました。様々な事業に対応する中で、人に見られているという意識が芽生えました。普段から見本となる行動ができるよう意識しています」

「警察官は、市民が困ったときに頼りになる存在として、いろいろな意味で人を守る仕事だと思います。交番課では、スピード違反や一時停止違反を取り締まることで、交通違反が原因で起る事故を減らし、歩行者の安全を守る活動をしています。違反者には違反することによる危険性を十分に理解してもらおうため、毅然とした態度で対応することを心がけています」

ありがとうございました。



18歳

▼
22歳

▼
26歳

部活を通し、メンタル面が鍛えられる。卒業後、愛知学院大学へ。

ラクロス部の仲間と励まし合いながら、試験対策に取り組む。警察官採用試験に合格。

交通違反が原因で起る事故を減らすため、毅然とした態度で日々の仕事に取り組む。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

ーメッセージ

「警察官になるためには、採用試験に合格する必要があります。大学でいたり、キャリアセンターのサポートを受けられたりするのでぜひ活用してください。私は、愛知県警察のイベントに参加し、そこで見た女性の白バイ隊員の姿に憧れを抱いて進路が明確になりました。大切なのは、気になつたことは何事も挑戦してみること。周りの意見に流されないで、自分の気持ちや興味を大事にして欲しいです」

覚えようという意識で取り組む。
毎日、必ず何かひとつは新しいことを

なるためには



●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→名古屋市職員採用試験に合格→名古屋市消防学校に入校→各消防署に配属

住田陵亮さん(1991年生まれ)

中部大学第一高校 出身

愛知東邦大学 人間健康学部卒業

名古屋市消防局

名古屋市中区三の丸 3-1-1
<https://twitter.com/NagoyaShobo>

「高校時代はボクシングジムに通い、ボクシングに打ち込んでいました。ボクシングを通して学んだのは、継続は力に変わること。体力がなく最初はすぐにバテいたのですが、トレーニングを継続することで目に見えて動きがよくなっていることを実感しました」

大学時代について教えてください。

「体を動かすことが好きでトレーニングに興味があったので、愛知東邦大学人間健康学部に進学しました。スポーツ科学や心理学が学びの中心。運動をしたときの身体のメカニズムや、効果的なトレーニングなどを学びました。持久力が必要なスポーツ、瞬発力が必要なスポーツなど、様々なスポーツに取り組んでいた学生を対象にして、私が考案したトレーニングメニューを実践してもらった授業が印象に残っています」

ー仕事について

「まずは半年間、消防学校で消防官としての規律や基礎を学びます。座学では、消防法や消防組織法などについて学びました。ホースや梯子を伸ばす訓練、放水訓練、ロープ結索の訓練などもありました。この仕事は時間に厳しい世界。常に逆算して段取りを立てる必要があります。何事を事前準備が重要だということを学びました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「警防地域係に所属し、消防隊として活動しています。火災があつたら出動し、消火・人命救助活動にあたるときにはうれしかったですね」

「印象に残っているのは、救急隊としてスーパーに出動したときのこと。心肺停止状態の方に対応したのですが、後日、その方が署までお礼を言いに来てくれました。意識のなかつた方が、目の前で話している姿を見たときはうれしかったですね」

ーやりがい

「印象に残っているのは、救急隊としてスーパーに出動したときのこと。心肺停止状態の方に対応したのですが、後日、その方が署までお礼を言いに来てくれました。意識のなかつた方が、目の前で話している姿を見たときはうれしかったですね」

心がけていることは?

「私たちの仕事はノルマがあるわけではありませんで、出勤がない日は何かをしてしまっても1日の仕事が終わります。今日は何もしなかった日、必ず何かひとつは新しいことを覚えようという意識で日々の訓練や勉強に取り組んでいます」

ーやりがい

「印象に残っているのは、救急隊としてスーパーに出動したときのこと。心肺停止状態の方に対応したのですが、後日、その方が署までお礼を言いに来てくれました。意識のなかつた方が、目の前で話している姿を見たときはうれしかったですね」

ー学生時代

「高校時代はボクシングジムに通い、ボクシングに打ち込んでいました。ボクシングを通して学んだのは、継続は力に変わること。体力がなく最初はすぐにバテいたのですが、トレーニングを継続することで目に見えて動きがよくなっていることを実感しました」



ーメッセージ

「消防官になるには、市町村単位で実施される職員採用試験に合格する必要があります。私は消防官になつてから、危険物取扱者乙種4類などの資格を取得しました。事前に役立ちそうな資格を取得していくとアドバンテージになると思います。この仕事は人間関係が重要。学生時代に団体競技に取り組んでチームワークなどを身につけておくと仕事に役立つと思います。自由な時間もたくさんあると思うので、いろんな経験をして視野を広げておいてください」

ありがとうございました。



18歳 愛知東邦大学に進学し、スポーツ科学や心理学を学ぶ。

26歳 名古屋市消防局に採用。消防学校で消防官としての規律や基礎を学ぶ。

31歳 警防地域係に所属(現在)。住民の非常事態に駆けつけて命や財産を守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



バスケットボールとコーヒーを通じて みんなを笑顔にする仕事。



大内舞さん (1989年生まれ)
至学館高校出身

グレープパークコート(株式会社ビューティフルデイ)
豊川市土筒町河原2-2
https://www.instagram.com/grape_park_bsk/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業で語学留学でイタリアへ帰国後、カフェで働く→コーヒーショップが併設されたバスケットコートの管理人として働く

——**仕事について**
「コーヒー・ショップ・チャーチン」を経て、名古屋のカフェで働きはじめました。そこに、コーヒーショップが併設されたバスケットコート「グレープパークコート」を手がけた小林さん(社長)がよく来てくださつたつてお声がけいただきました。小林さんが子どものときの原体験を踏まえて、『バスケが好きな人に向けて、気軽にバスケができる場所を作りたい!』という思いにグッときたのと、コーヒー・ショップを併設することや、バスケの試合を見たらハ

——**やりがい**
「コーヒーを提供したお客様が、おいしそうな顔をしたり嬉しそうな顔をしたりするのを見たときにやりがいを感じます。コートを利用してくださいった方が、「久しぶりにバスケがきてよかったです!」「いいシューートができた!」と言つて、元気になつて帰る姿を見たときも嬉しいります」

——**現在の仕事に興味をもつたきっかけ**
「現地のバリスタがお客様にとって、帰国したらカフェで働くこうと思いました」

——**現在の仕事に興味をもつたきっかけ**
「中学、高校時代はバドミントン部に所属して、高校1年で副部長を2年で部長を務めました。副部長と協力しながら、トレーニングメニューを考えたり、みんなの意見をまとめたりしていました。きつい練習を乗り越えた経験が自分の原動力になっています」



18歳 バドミントン部に所属して部長を務め、メンバーの意見をまとめる。

20歳 語学留学で、以前から気になっていたイタリアへ行く。

31歳 コーヒーショップが併設されたバスケットコート「グレープパークコート」の管理人として働きはじめる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



——学生時代

——メツセージ

「好きなことをずっと続けなくともいいですが、好きだという気持ちを忘れないでほしいです。バスケが好きなんだけど時間がなくてできていらない場合、バスケが嫌いになつたわけではないですね。ふと思いついたタイミングでバスケをしたらいい。必ずしもプロになるといふ道を進むだけが正解というわけではありません。ここで練習して頑張っている子たちが高校卒業を機にバスケをやめたとしても、それぞれ進りで、どこを見ても山が見えて空が広いことに感動し、名古屋から豊川へ移住しました。私の仕事は、この場所を通してみんなを笑顔にするので、その力になれたらと思ってます。『グレープパークコート』の上棟式の日に初めて豊川の地に降りて、どこを見ても山が見えて空が広いことに感動し、名古屋から豊川へ移住しました。私の仕事は、このことで、その力になれたらと思ってます。主にバスケットコートの管理や整備、バリスタ業務、アパレル商品の開発、イベント出店などをしています」

「ありがとうございます」

「好きなことをずっと続けなくともいいですが、好きだという気持ちを忘れないでほしいです。バスケが好きなんだけど時間がなくてできていらない場合、バスケが嫌いになつたわけではないですね。ふと思いついたタイミングでバスケをしたらいい。必ずしもプロになるといふ道を進むだけが正解というわけではあります。ここで練習して頑張っている子たちが高校卒業を機にバスケをやめたとしても、それぞれ進りで、どこを見ても山が見えて空が広いことに感動し、名古屋から豊川へ移住しました。私の仕事は、この場所を通してみんなを笑顔にするので、その力になれたらと思ってます。『グレープパークコート』の上棟式の日に初めて豊川の地に降りて、どこを見ても山が見えて空が広いことに感動し、名古屋から豊川へ移住しました。私の仕事は、このことで、その力になれたらと思ってます。主にバスケットコートの管理や整備、バリスタ業務、アパレル商品の開発、イベント出店などをしています」

コーヒーを通じて喜んでもらい、
楽しいことをみんなで分かち合いたい。

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→イギリスへ語学留学→帰国後、家業を継ぐ

「自宅の1階がコーヒー豆専門店だったので、コーヒーの香りに包まれて育ちました。幼いながら『コーヒーは大人の飲み物』というイメージがあって、砂糖やミルクをたくさん入れながら飲んでいました。中学からハンドボールを始め、高校卒業までの6年間は部活動に専念。レギュラーとして試合に出でました。部活を通して、協調性、上下関係などを学ぶことができたと思います」

専門時代について教えてください。

「もともと興味があったクリエイティブな仕事に携わりたいという思いがあり、日本デザイナー学院に進学。両親は絵や音楽では飯は食えんぞ、手堅く経営を学んだほう母は背中を押してくれました。自分がいいというタイプでしたが、週末はサークルのメンバーと一緒に海や山に出かけていました。クラブフェスティックに詳しい同級生と出会い、DJにハマりました。数人で会場を借りて好きな音楽をかけて、楽しさを分かち合っていました」

ー 仕事について

「専門学校を卒業したあとは、看板制作の仕事をしたり、貯めたお金でイギリスへ留学したり。やりたかったことをいろいろやらせてもらい、家業である「コーヒー豆専門店を継ぐことを決意しました。従業員の方と一緒に配達先を回るところから始まって1から仕事を学びました」

ー やりがい

「コーヒー豆を届けたときに喜んでくれたり、『うちのコーヒーを使ってこんなことをやりたい!』と話してくれる」

【監修】

18歳 中学から始めたハンドボールを続けて、部活動に励む。

20歳 クリエイティブな仕事に就くため、日本デザイナー学院に進学。

25歳 家業(コーヒー豆専門店)を継ぐことを決意。



野入靖司さん(1974年生まれ)

名古屋国際高校出身
日本デザイナー学院 グラフィックデザイン科卒業

ミズコーヒー商会

名古屋市中村区日ノ宮町2-115-2
<https://www.instagram.com/noiri1974/>

ー 学生時代

「日本デザイナー学院に通っていた頃は、毎日が忙しかったです。授業や実習、部活動など、様々な活動を行っていました。特にハンドボール部では、毎日練習をしていました。また、専門学校時代には、毎日朝から晩まで授業があり、夜は部活動や実習で忙しかったです。それでも、毎日が充実していました。」

えて新しいつながりができることがあります。人に言われて始めたことができます。人に言われて始めたことは、何よりも嬉しいです。僕の場合はコーヒーとDJで幸運です。『これだ!』と思うものを見つけて追求していくべきだと思います。自信をもって突き進んでもらいたいです。

ー メッセージ



「好きな分野だったら続けることができます。人に言われて始めたことは、何よりも嬉しいです。僕の場合はコーヒーとDJで幸運です。『これだ!』と思うものを見つけて追求していくべきだと思います。自信をもって突き進んでもらいたいです。

「ありがとうございます」といいました。また、自分たちの営業スタイルが他の店舗と違っている点を強調しています。「コーヒーに近づけるように作っています。コーヒーの味だけを成立すればいいわけではないので、バッケボーンからお客様が『将来的にどういうお店にしたいのか』といったビジョンまでしっかりと伺います。店づくりのワンピースになれたうれしいです。基本はコーヒー豆を届けるまでが仕事なんですが、それだけだと味気ない。イベントやフェスなどにも出向くようになります。DJとして呼んでいただくなれば主催することもあります」

「ありがとうございます」といいました。また、自分たちの営業スタイルが他の店舗と違っている点を強調しています。「コーヒーに近づけるように作っています。コーヒーの味だけを成立すればいいわけではないので、バッケボーンからお客様が『将来的にどういうお店にしたいのか』といったビジョンまでしっかりと伺います。店づくりのワンピースになれたうれしいです。基本はコーヒー豆を届けるまでが仕事なんですが、それだけだと味気ない。イベントやフェスなどにも出向くようになります。DJとして呼んでいただくなれば主催することもあります」



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



**商品をお客様の食卓に運ぶために、
最適なアイデアを提案する。**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→食品メーカーに就職→営業本部に配属

山際麻里子さん(1990年生まれ)

名古屋市立北高校出身
中部大学 経営情報学部卒業

寿がきや食品株式会社

豊明市沓掛町小所189
<https://www.sugakiya.co.jp/>

――**学生時代**――

「中学から合唱部に所属していて、北高校の合唱部に憧れて進学先を選択しました。朝練、昼練、夜練が毎日あって、運動部並みに厳しいトレーニングでした。みんなで協力してひとつものを作るのが合唱。いかにまわりと協調して歌えるかが重要です。北高校の合唱部には『親子制度』というシステムがあり、私も真剣に1対1で後輩と向き合いました。時には厳しく指導することも。日々の成果が実り、全国大会に出場できたことは一番の思い出です。高校卒業後、中部大学の経営情報学部に進学しました」

大学時代について教えてください。

「経営学を学ぼうと思ったのは、単純にお金というものに興味があったから。経営、経済、情報、生産管理など幅広い分野を勉強しました。どのような売り方、売場づくりをしたから売上につながるのかを学んだり、2社の競合企業を調べて「どちらにメリットがあるのか」をディベートしたりしました。在学中に、販売士と簿記の資格を取得しました」

――**仕事について**――

「大学卒業後は、麺・調味料の食品メーカーである寿がきや食品に就職しました。面接時に私自身のアレンジレシピを紹介するぐらい、寿がきやの商品が好きだったことが入社の決め手です。取引先の方から、「本当に寿がきやが好きだなあ」と言わされたこともあります。前の部署では、商品企画にも携わっていました

――**やりがい**――

「提案したアイデアが売上につながったという報告を受けたときは、『提案つてこういうことだな』『やっぱりやってよかった』と思いまして。今は買ってくださった方の声をSNSで見ることもできます。いろんな方の反応を見ていると、全國に

――**学生時代**――

「学生のうちに、やりたいことを見つけたらしいです。興味をもつたことは全部やった方がいいですよ。途中でまあいいやと思ったら、違うことをやってみてください。私の場合は、小学生のときに「ラスボンド部」水泳部、バスケ部と、転々として中学で合唱にハマりました。いろいろな経験をしていくと自然と『これがやりたい!』というものが見つかることだと思います」

――**メツセージ**――

「寿がきやの味を届けられているという実感が湧いてうれしいですし、やりがいにもつながっています」



18歳 合唱部の練習に注力し、全国大会に出席。

22歳 中部大学に進学。経営学を学び、販売士と簿記の資格を取得。

32歳 寿がきや食品の営業職として勤務。地域性や客層を意識した提案を心がける。



販売
実習年

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



いつも前を向いて成長する。
仕事の経験や人との出会いを自分にプラスし、



水野汰一さん(1995年生まれ)

名古屋市立北高校出身
名古屋外国語大学 現代国際学部卒業

名古屋鉄道株式会社

名古屋市中村区名駅1-2-4
<https://top.meitetsu.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 動力車操縦者運転免許
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、まちづくりについて学ぶ→鉄道会社に就職→駅員を経て車掌を2年以上経験→国家試験に合格し、動力車操縦者運転免許を取得→鉄道運転士

「英語に興味をもち、高校在学中にオーストラリアと中国へ留学したことが高い出に残っています。「何事もやってみる。失敗したらそのときに考えればいい!」というマインドも芽生えました。卒業後は、名古屋外国语大学に進学しました」

大学時代について教えてください。

「英語を使って海外の文化や経済、法律を勉強する授業が多かったです。観光地に来ている外国人にインタビューし、統計をとって研究発表をしたり、大学にいる留学生に観光地を案内したりしました。海外に出ることもおもしろいとは思つたのですが、私が最終的にいきついたのは日本国内のまちづくり。大学生活を経て、地元名古屋で働きたいという就活の軸が自然とできました」

――仕事について

「大学卒業後、名古屋鉄道に就職しました。1年目は、名鉄名古屋駅に配属。ホームに立って、お客さまへの案内や放送をしました。半年ほどで神宮前乗務区に異動し、車掌を経験。学校や会社に通うお客さま、空港や愛知県国際展示場を利用するお客さまなどの姿を見て、路線や沿線の特徴を勉強しました」

「車掌を経験した後、国家試験に合格して動力車操縦者運転免許を取得しました。教習期間中は教導者が隣について運転技術を学び、鉄道運転士として電車を運転できるようになりました。ラッシュ時は約10

00人の命が自分の2本の腕にかかるいます。教習期間を経て、仕事に対する責任感が強まりました」

現在の仕事内容を教えてください。

「お客さまを時間通り安全に目的地へ運ぶ仕事です。スムーズに快適に移動してもらうためにも日々的確な仕事ができるよう意識しています。加速とブレーキの操作ひとつとっても、電車の種類やレールの状態、天候、乗客数などによって細かく操作が変わります。電車の状態に

私たち運転士が合わせて操作をします。経験を積むことでしか感覚を身につけることができないので、大変ではありますが、裏を返せばそれがこの仕事の醍醐味でもあると思います」

――やりがい

「私たちにとっては、時間通り目的地に到着するのは当然のことです。でも時々、駅に着いたときに運転席を覗いて『ありがとうございます!』と言つてくださるお客さまがいます。そういった感謝の声にやりがいを感じます。あとは、プライベートでも交流をしたりと職場の雰囲気がいいことも魅力。アットホームな環境で働いていることはとても自慢です」



――学生時代

――メツセージ

「名古屋鉄道にはいろんな種類の電車があるので、電車が好きな人は特に楽しいと思います。鉄道運転士を経験したあとのステップも、ダイヤを作る人や運行の指示をする人、商品企画など様々な部署があるので、

やる気次第でいろんな仕事に挑戦できます。学生時代、いろんな場所に出かけて私はいろんな人と話をしました。それによって、私はいろんな人と話を

するようにしていました。それは自分にとってプラスだったと思います。つらいときにうしろを向くのではなく、いつでも前を向いて乗り越えるためのヒントになっています」



22歳

大学の講義で日本のまちづくりに興味をもち、地元就職をめざす。

▼

23歳

名古屋鉄道に入社。駅員、車掌を経て、鉄道運転士に。

▼

28歳

どんな状況でも時間通り安全に目的地へ到着するため、日々、経験を積む。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

**小さなミュージアムをつくりたい。
多様なカルチャーを横断して届ける。**

なるためには



- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→メディアの会社に就職
→建築業界に転職→洋服とビジュアルの2軸で活動開始→
ギャラリー経営

伊藤嘉久さん

名古屋市立富田高校 出身

C7C gallery and shop

名古屋市千種区千種2-13-21 2F

<https://www.instagram.com/c7cgalleryandshop/>

「10代からロンドンカルチャーが好きで、情報収集するために洋雑誌を買っていました。自然と写真やデザイン、アートに興味をもつようになりました。自分が自分を形成していくた

よように思います。高校時代は部活に属さず、同じように洋雑誌が好きな子たちと一緒に毎日カルチャー色強いショッピングに行って、ひたすら洋雑誌を探していました。そういう場所に行くことが、ステータスのひとつになっていましたね」

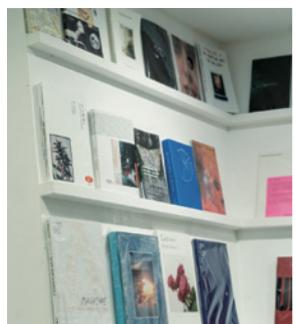
——仕事について

「大学を卒業してからメディアの会社で5年ほど勤めて、そのあと建築業界へ。日常的に建築物やインテリアを見ることが好きだったので、仕事に打ち込むことができました。長く建築業界で働くなかで将来のことを考えていたときに、意気投合した友人と洋服とビジュアル(写真やデザイン)の2軸で活動を開始。やっていくうちに本腰を入れたい気持ちが強くなり、アパレル業界に転職しました。知り合いからこのビルを紹介され、改造したら使えると確信がもてたこともあり、2013年に、「C7C gallery and shop」をオーブンしました」

「小さなミュージアムをつくりたい」というコンセプトのもと、自分の審美眼で選び抜いた作家の展示と作品の販売、アートブックの仕入れと販売をしています。作品を拡張するときには本以外のもので拡張

する人もいて、可能性を広げるためブックショップではなくショップとしています。レンタルギャラリーではないので、基本的には自分で企

画展を考え、私から若手の作家さんにお声がけしています。関東で活躍している方が多いですね」



「みんな学校に行つて、いろいろな体験をしています。今の高校生は完全にデジタルネイティブ世代なので、スマホひとつでなんでもできる

と思いますが、体験のひとつとしてギャラリーで展示を見たり本を読んだりすると人生にとつてプラスになると思います。早いうちからアートブックを読むと感度が高くなりますよ。学校の延長戦で構いません。まずは気軽にギャラリーに来てください。敷居の高い大人の世界だと思わなくて大丈夫ですよ。学生さんも大歓迎です」

ありがとうございました。

18歳 洋雑誌にハマる。自然と写真やデザイン、アートに興味をもつように。

38歳 意気投合した友人と、洋服とビジュアル(写真やデザイン)の2軸で活動を開始。

現在 C7C gallery and shop を運営。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



——学生時代

——メッセージ

企業の課題をクリエイティブで解決し、
ブランドビジョンにピントを合わせる。

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→デザイン関係の専門学校に進学→グラフィックデザイナーとして経験を積む→ブランディングの会社を設立



矢野まさつぐさん (1974年生まれ)

豊明高校出身
日本デザイナー芸術学院 ビジュアルデザイン学科卒業

株式会社レンズアソシエイツ

名古屋市中区橘1-6-8 LENS bldg. 2F
<https://www.lens-associates.jp/>

「高校時代はバスケの思い出しかないくらいの部活に熱中していました。部活初日に声をかけてくれたのが、のちに一緒に会社を立ち上げることになる三浦。映画や音楽などのサブカルチャーにハマつていつたのは彼の影響が大きいです。CDジャケットやグラフィティなど、ストリートカルチャーの延長にあるグラフィックデザインに興味をもち、卒業後、日本デザイナー芸術学院に進学しました。授業を受けるなかで、自分がやりたかったこととの違いにギャップを感じるようになりました。その違和感から、商業ビルでライブペイントをするなど学外の活動にも力を入れるように。応募したコンペティションで受賞したことで活動に自信がつきました」

—仕事について

「24歳のときに、ブームになっていたデザインユニットに憧れ、勤めていたデザイン事務所を辞めてフリーランスになりました。ただ、独立したもののクラブのフライヤーなどの仕事が中心で全然うまくいかず…。1年ほどで断念し、先輩に紹介してもらった事務所に就職しました。その後、広告代理店の下請け仕事ばかりだと、お客様の顔が見えないことに違和感を覚えるようになります。また独立欲が出てきました。ちょうどその時期に、デザイン事務所で働いていた同級生の三浦から連絡があったんです。彼も独立を考えていた、一緒に物件を見に行

きました。ボロボロの建物でしたけど、僕らには輝いて見えて(笑)。そりでライヴペイントをするなど学外の活動にも力を入れるように。応募したコンペティションで受賞したことで活動に自信がつきました」

現在の仕事内容を教えてください。

「企業が抱える様々な課題を、デザインや映像などのクリエイティブを活用して解決することが主な仕事内容です。それがブランディングだと考えています。お客様が生み出す商品やサービスには様々な企業が関わっていて、それぞれにストーリーがあります。誰が見ても、ブランドがもつている価値を共通認識できるよう、その背景を整理して伝えることが大切です」



「価値観の合う人と一緒にいるのも楽しいですが、それと逆のこともやっていかないと社会に出たときに苦労すると思います。高校生のうちから価値観が合わない人ともたくさん話してみてください。クリエイティブな仕事は『あの人だったらこう思うだろうな』と仮説をたてることが大事です。今のうちから自分の中に他人の脳を最低でも20人分くらい入れておくとよいでしょう。理想は100人ですね。」

ありがとうございました。



16歳
↓
29歳
↓
39歳

バスケに熱中する。部活の友人の影響でサブカルチャーにハマる。

デザイン事務所を辞め、高校の同級生と事務所をシェアして独立。

B2Bブランディング専門デザインファーム「株式会社レンズアソシエイツ」を設立。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



お客様が抱えている課題を、
ITの力を使って解決する。

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→様々な分野のソフトウェア開発をおこなうIT関係の企業に就職→システムエンジニア



山田三喜さん(1997年生まれ)

名古屋市立富田高校出身

愛知学院大学 総合政策学部卒業

株式会社システムリサーチ

名古屋市中村区岩塚本通2-12

<https://www.sr-net.co.jp/>

高校時代の思い出は、女子バスケットボール部のマネージャーを経験したことです。部員たちに練習以外の負担をかけないように、常にまわりを見て動く姿勢が身につきました。当時は明確な目標が特になかったので、幅広い分野を学べる愛知学院大学の総合政策学部に進学しました

大学時代について教えてください。

「法律、経済、心理学、IT関係などを幅広く勉強しました。特に印象に残っているのは、チームでおこなうリサーチ・プロジェクトの講義。私たちには『福祉』をテーマにしました。

福祉施設にアポイントをとって課題を探し、どうしたらその課題を解決できるかをみんなで考えました。講義を通して、課題解決能力や資料を作成する力が養われたと思います」

就職活動について教えてください。

「大学卒業後は、様々な分野のソフトウェア開発をおこなうシステムリサーチに就職しました。若い企業が多い業界のなかで、システムリサーチは40周年という節目を迎え、長い歴史があるところに安定感を感じて惹かれました。大学で実施した職業適性検査でITが一番上だったことも、IT企業を志望したきっかけのひとつです」

仕事について

「入社後、まずは当社が提供しているサービスやプログラムなどの知識を覚えるところから始まります。

私は入社後に1から勉強しました。上司がとても優しい方だったので、人間関係の苦労もなく仕事を覚えていくことができました」

「私たちの仕事は、お客様が抱えていた課題やニーズを、ITの力で解決したり実現したりすること。お客様の作業をITの力で改善し、効率的に取り組める環境を作っています。私が担当しているお客様は、製造関係の企業や教育機関などが中心。チャットツールや社内で共有・共同編集ができる掲示板などのクラウドサービスを提供しています。

心がけていることは、ていねいに作業をすること。ミスがないようにダブルチェックも大切にしています」

—やりがい

「クラウドサービスを導入したお客様から、「働きやすくなったよ」「ありがとう!」という声をいただけたときややりがいを感じます。会議で私が作成した資料を提示したときに、「わかりやすかったよ」と言われたときももうれしいです。お客様や同僚など、誰かの声が仕事のやりがいにつながっています」

—学生時代

「高校時代の思い出は、女子バスケットボール部のマネージャーを経験したことです。部員たちに練習以外の負担をかけないように、常にまわりを見て動く姿勢が身につきました。当時は明確な目標が特になかったので、幅広い分野を学べる愛知学院大学の総合政策学部に進学しました

大学時代について教えてください。

「法律、経済、心理学などを幅広く勉強しました。特に印象に残っているのは、チームでおこなうリサーチ・プロジェクトの講義。私たちには『福祉』をテーマにしました。福祉施設にアポイントをとって課題を探し、どうしたらその課題を解決できるかをみんなで考えました。講義を通して、課題解決能力や資料を作成する力が養われたと思います」

就職活動について教えてください。

「大学卒業後は、様々な分野のソフトウェア開発をおこなうシステムリサーチに就職しました。若い企業が多い業界のなかで、システムリサーチは40周年という節目を迎え、長い歴史があるところに安定感を感じて惹かれました。大学で実施した職業適性検査でITが一番上だったことも、IT企業を志望したきっかけのひとつです」

—メッセージ

「特に必須となる資格はありません。サービスやプログラムなどの専門知識は、私のように入社後に勉強すれば身につけることができます

よ。就職活動では、大学のキャリアセンターなど、まわりにいる人たちに頼ってください。支えてくれる人が自分のまわりにはたくさんいることに気づけますよ。まだ目標が定まっていない人は、自分を知ることから始めてみてください。あとは、たくさん遊んでほしいですね。学生のときにはできることにぜひ挑戦してください」

「ありがとうございます!」



18歳 女子バスケットボール部のマネージャーとして部活に励む。

↓
22歳 愛知学院大学に進学。様々な講義を通して課題解決能力を養う。

↓
25歳 システムリサーチに就職し、システムエンジニアとして勤務。お客様からの声がやりがいに。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





栗本峻輔さん(2001年生まれ)

名古屋市立工業高校出身

愛三工業株式会社

大府市共和町1-1-1
<https://www.aisan-ind.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→製造関係の企業に学園生として就職→製造技術、知識を学ぶ→技能五輪選手として勤務

将来は、モノづくりに関わりたい

という思いをもっていました。きっかけは、親がモノづくりの仕事をしていましたからです。自然と興味をもちました。高校も設計や製図を学ぶコースを選択しました。歯車やフレンジなどの製品の寸法を測り、ドライバーを使って手描きで製図をする授業が楽しかったです。製図をしていると、あつという間に時間が過ぎて、改めて自分はモノづくりが好きなんだと実感しました。

ー仕事について

「生産現場で活躍するリーダーを育成することを目的とした愛三学園に惹かれ、自動車部品の製造をおこなう愛三工業に就職しました。

高校は機械科だったので、生産設備

を動かすためのプログラムなどを電気に関する知識は1から学園で学びました。卒業課題でライントレースカーを作成したのですが、トライ

アンドエラーを繰り返しながら電気基盤と外装をチームで作り上げた経験が印象に残っています」

仕事内容を簡単に教えてください。

「愛三学園を卒業後、技能五輪選手として、大会で金賞を取るために日々の練習に取り組んでいます。技能五輪は、様々な部門の技能レベルを競う大会です。旋盤職種や機械製図などの分野がありますが、私の分野はメカトロニクス職種。プログラミング担当とハード担当2人チームで臨みます。競技スタートと同時に課題が発表され、工場の自動生産設備を入れていきます」



「技能五輪に出演している選手のみ

なさんは、各企業を背負った立場になります。敵ではなく、刺激しあうライバルのような存在ですね。そこで得た経験を、技術力として自社に還元していきたいです」

ーやりがい

「1年目は9時間かかっていた課題

が、今では3時間でできるようになりました。自身の成長がやりがいにつながっています。目標として

「お忙しいところ、ありがとうございます」とお忙しいところ、ありがとうございました。



18歳 高校では、設計や製図を学ぶ。高校卒業後、愛三工業に就職。

19歳 学園生として、電気に関する知識を学ぶ。その後、技能五輪選手として勤務。

22歳 技能五輪で初の金賞を受賞できるよう日々の仕事に励む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



ー学生時代

ーメッセージ

「技能五輪大会では、会社として初の金賞を狙っています。その目標に向かって日々の仕事に取り組んでいます。結果はどうであっても、上をめざして努力した過程や経験そのものが私の財産です。学生時代何かを一生懸命頑張った経験は必ず社会に出たときに役立つのです。それをもって取り組んでもほしいです。分野が違ったとしても無駄なことなんてありません。将来、意外なところで役に立つたりすることも多いですよ」

上をめざして努力した過程や経験そのものが財産。

お客様に寄り添い同じ目線で接し、
夢を現実にする。



宮脇恭成さん(1995年生まれ)

名古屋西高校出身

愛知大学 経済学部卒業

株式会社エサキホーム

一宮市東出町7-1(本社)
<https://www.esakihome.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→一戸建て住宅を販売する企業に就職→宅地建物取引士を取得→営業として勤務

「エサキホームに入社後、住宅の設備・性能アフターフォローなど、まずは自社に関する知識を勉強しました。学んだ知識をただ披露するだけでは、お客様は『?』になると思いきりなりました。もう少しスケールを広げて人生に関わる仕事を考え、住宅業界を希望しました」

――仕事について――

「大学生のときに塾でアルバイトをしていました。私をずっと指名して通っていた生徒から、『宮脇さんの就職活動について教えてください』と聞きました!」という手紙をもらつたんです。そのときに、誰かの人生の岐路に関する仕事がしたいと思うようになります。もう少しスケールを広げて人生に関わる仕事を考え、住宅業界を希望しました」

「エサキホームに入社後、住宅の設備・性能アフターフォローなど、まずは自社に関する知識を勉強しました。学んだ知識をただ披露するだけでは、お客様は『?』になると思いきりなりました。もう少しスケールを広げて人生に関わる仕事を考え、住宅業界を希望しました」

――やりがい――

「お客様に提案をする際は、自分を底にある思いが見えてくるんですね」

「エサキホームの営業担当としてで心がけています。営業という仕事ではなく、お客様と横並びで、お客様に寄り添い同じ目線で接するよう

なりました。以前は人と話すことが苦手でしたが、いろんな人と関わる機会が増えて克服できました」

「お客様の理想の生活・夢を現実に実現する仕事。弊社は売却住宅を扱っているので、問い合わせをいただいたいことなども多いでです。言葉の裏を考えることなどが大切になります。たとえば、『広い家がいい』と言つても、『なぜそう思うのか?』を聞いていくと、『昔から憧れがあつて』とか『子供のために』とか、広い家に住みたい根底にある思いが見えてくるんですね」

「お客様に提案をしていきます。雑談などから、将来のビジョン、現在困っていることなどを聞き出していくのですが、お客様は本音を話さないことが多いです。言葉の裏を考えることが多いです。お客様は本音を話さない」と教わりました」



――学生時代――

「高校時代の私は人と話すことが得意ではなく、交友関係も広くありませんでした。明確なビジョンもなかったので、大学で何かを見つけようと思っていました。愛知大学では、ミクロ・マクロ経済学などの経済理論を学びました。人間の行動理論需要と供給のバランスなどを学んだことも印象に残っています。

キャリアデザインプログラムでは、外国人観光客の誘致プロジェクトに参加しました。これは企業主導でおこなっているもの。運輸局など社会人の方と話す機会も多く、自分の言葉で自信をもって話せるようになりました。以前は人と話すことが苦手でしたが、いろんな人と関わる機会が増えたことで成長を感じています。自分の世界に閉じこもりません。学生時代は『このまま4年間をだらだら過ごしたらやばい…何かを変えたい!』という思いが芽生えた時期もあります。それからは、いろんなことに挑戦しています。自分の世界に閉じこもらず、視野を広げていろんな価値観にふれてください!」

「ありがとうございます!」

――メッセージ――

「私は、入社1年目に宅地建物取引士を取得しました。学生でも挑戦できるので、住宅業界をめざすなら学生のうちに取得するのもいいかもしれません。学生時代は『このまま4年間をだらだら過ごしたらやばい…何かを変えたい!』という思いが芽生えた時期もあります。それからは、いろんなことに挑戦しています。自分の世界に閉じこもらず、視野を広げていろんな価値観にふれてください!」



- | | |
|-----|----------------------------------|
| 19歳 | 大学で経済理論の基礎を学ぶ。キャリアデザインプログラムにも参加。 |
| ↓ | |
| 23歳 | エサキホームに入社。宅地建物取引士を取得する。 |
| ↓ | |
| 28歳 | お客様の根底にある思いを引き出し、お客様の夢を現実に。 |

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

